

リベリア  
ニンバ山脈地帯森林保全プロジェクト  
現地からのお便り（2020年7月～2021年6月）

2021年8月  
コンサベーション・インターナショナル



### 生計向上活動（養豚）

Gbobayee、Yoloweenno の 2 村では、代替生計手段として野生動物の肉に対する代替タンパク質源として、養豚が導入されています。

2 つの村で合計 50 頭の豚が飼育されていましたが、18 頭の子豚が合計 121,500 リベリアドル<sup>1</sup>で売られ、5 頭の豚がメンバーの自家消費用に屠殺されました。売上は村の村落貯蓄貸付組合の設立に使われました。

---

<sup>1</sup> 1 リベリアドル=約 0.64 円。121,500 リベリアドル=約 77,918 円



Yelowee 村の豚（左）、Gboboyee 村の農家と CI リベリアスタッフ（右）



Yelowee 村の農家との対話（左）、Gboboyee 村で栽培されている豚餌用のキャッサバとイモ（右）

©Conservation International/Photo by George Ilebo

### 生計向上活動（稲作）

これまでに稲作の技術向上トレーニングを Gboboyee 村で受けた 20 人の住民（男性 16 名、女性 4 名）の内、15 名（男性 11 名、女性 4 名）は稲作を継続しています。40m x 40m の大きさの標準水田 7 枚で。しかし、残りの 5 名は残念ながら、用具の不足を理由に脱落してしまいました。



Gbobayee 村の水田 ©Conservation International/Photo by George Ilebo

### フロントライン保護官

村を訪ね、フロントライン保護官との対話をしました。主な課題として、パトロールに必要な用具が摩耗していること、パトロール中の食料の不足などが挙げられました。



Yolowee 村（左）と Gbobayee 村（右）で CI リベリアスタッフと議論するフロントライン保護官（コミュニティ撮影）

### 世界野生生物の日への参加

2021 年 3 月 3 日、私達は他の保全団体と共に、モンロビアで世界野生生物の日を祝いました。米国や英国の大使館、欧州連合、米国国際開発庁、世界食料機関、その他の関係者が参列しました。



世界野生生物の日のバナー©Conservation International/Photo by David Dennis Diggs



世界野生生物の日のセレモニーの様子©Conservation International/Photo by David Dennis Diggs

### ニンバ地域の四半期コーディネーション会議への参加

CI リベリアのチームがニンバ地域の四半期コーディネーション会議に参加しました。ニンバ地域が直面する生物多様性保全や開発における課題に対する現実的な解決策を見つけるため、参加者で話し合いました。

参加したのは、CI リベリアの他、森林開発局、ニンバ郡当局、アルセロールミットル、コミュニティ森林管理主体、農業研究所、コミュニティの権利拡大のための農村統合センター（RICCE）、技能及び農業開発サービス（SADS）、環境持続可能性のための森林収入プログラム（米国国際開発庁のプログラム）、ファウナ・フロラ・インターナショナル（FFI）などです。

会議では、ニンバ地域で実施されている保全プロジェクトの実施状況、機会、戦略を話し合いました。また、会議は関係者間での役割の重複を避けるのにも役に立っています。コミュニティによる違反行為への様々な対応策について話し合う場としても機能しています。



コーディネーションミーティングの様子 ©Conservation International/Photo by George Ilebo

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。